「地域産業の担い手育成プロジェクト」の成果と普及

山形県教育庁高校教育課
指導主事 高橋良治

本県では、世界に広がる「ものづくり山形」の構築を目指し、「ものづくり産業群の基盤力強化」や「ものづくり技術を活かした新分野への展開促進」などを行っています。その中では、本県の優れたものづくり力を支える人材育成を重要施策の一つに位置づけ、取り組んでいるところです。また、昨年6月に、「これからの本県の産業教育のあり方について」山形県産業教育審議会から答申をいただきました。この中では、地域産業の担い手・将来のスペシャリストを育成するために、地域産業界や上級学校と連携した人材育成などが求められています。全国的には、フリーターやニートと呼ばれる若者の増加が大きな社会問題となっているほか、若者のものづくり離れが指摘されている中で、地域産業を担う専門的職業人を育成する専門高校に対する期待は、より一層大きくなっています。

そのような中で、文部科学省では、地域産業界との連携をより充実させるとともに、ものづくり人材育成プログラムを開発するために「地域産業の担い手育成プロジェクト」を経済産業省と共同で実施してきました。本県でも平成20年度に採択を受け、地域のものづくり産業を担う人材の育成を目的として、3ヵ年計画で取り組んでまいりました。

寒河江工業高校、新庄神室産業高校、米沢工業高校、長井工業高校の4校が、それぞれの特色を生かしながら、「生徒の企業実習」や「企業からの技術者招聘による実践的指導」、そして、「教員の企業研修」などに取り組みしました。これまで、延べ8,802名の生徒、256名の教員に対し、延べ1,556社から御支援と御協力を賜り事業を終えようとしています。

お陰様で、「生徒の専門学習に対する意欲・関心の向上」や「教員の専門技術指導力の向上」など多くの成果が得られました。特に、生徒の企業内実習や企業技術者による学校での実践的な指導により、生徒の実践力の向上が図られるとともに、教員の企業における研修や共同研究により、指導力や技術力の向上が図られました。

工業高校においては、地域産業の担い手としての実践力を総合的に身につける必要があります。こういった事業を一層推進し、より多くの生徒が体験できるようにすることが肝要です。特に、成果が上がった「生徒の長期インターンシップ」や「教員研修」については、地域との連携・交流を一層深め事業の継続と普及を図りたいと考えています。

平成22年12月に示された専門学科における職業教育に関する答申案でも、「地域や産業界との密接な連携による学科整備・教育課程編成」や「長期実習等、実践的な教育活動の実施、実務経験者の登用」などが提言されています。

今後は、本事業の実践から得られた成果と課題を踏まえ、これまで築き上げた産学官による人材育成ネットワークを大切に、地域産業に必要とされる「ものづくり人材育成」のさらなる推進を図りたいと考えています。

本事業の成果が、これからの地域産業を支える「ものづくり人材育成」の新たな展望を拓き、着実な教育実践に結びつくことを御期待申し上げます。

今後とも、活力ある本県工業教育の更なる充実と発展のために、皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。